

Vib メッシュネブライザー

【警告】

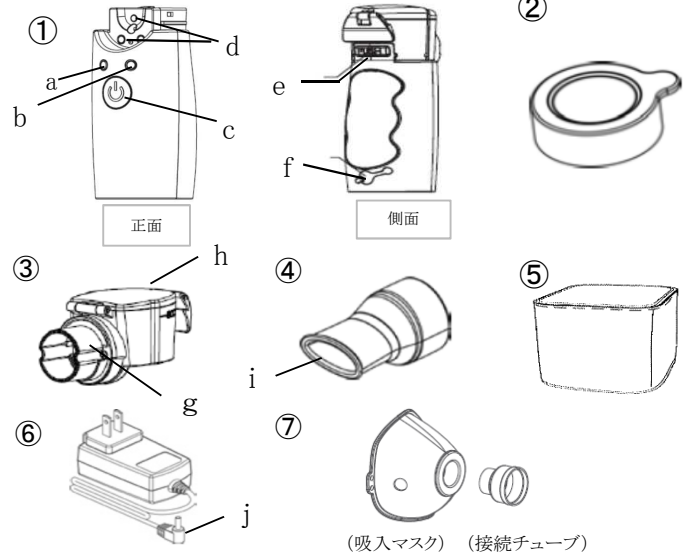
- 本装置を使用する際には、薬液の種類・容量・用法について、必ず医師の指示に従うこと[症状が悪化する恐れがあるため]。
- 取扱説明書に記載されている吸入療法以外の目的に使用しないこと[症状が悪化する恐れがあるため]。
- 本装置は、本来お一人専用を目的とした製品であり、他の人と共有することは避けること[複数で使用すると感染症などが広がる危険性があるため]。
- 乳幼児または小児の吸入時など特別の注意が必要な場合には、必ず大人が補助または付き添いすること [小さな部品を飲み込んだり、破損や怪我の原因になるため]。
- 本装置を購入後初めて使用する場合、又は長期間使用していなかった場合には、ネブライザーの部品を洗浄すること [雑菌が繁殖したり感染症を引き起こす恐れがあるため]。
- 使用後残った薬液は廃棄し、吸入を行う毎に新たな薬液を使うこと [雑菌が繁殖し、感染する恐れがあるため]。
- 吸入後は、毎回チャンバー・マウスピース・接続チューブ及び吸入マスクを洗浄し、速やかに乾燥させること[雑菌が繁殖したり感染する恐れがあるため]。
- 濡れた手でACアダプタの電源プラグをコンセントに挿したり、抜いたりしないこと[感電の恐れがあるため]。
- 子供の手の届かないところに置くこと[小さな部品を飲み込む恐れがあるため]。

【禁忌・禁止】

- 薬液チャンバーのメッシュ部分を綿棒、ピンなどで突いたりしないこと[破損し使用できなくなるため]。
- 薬液チャンバーには規定(8ml)を超える量の薬液を入れないこと[薬液がこぼれ故障の原因になるため]。
- 空気、酸素、あるいは笑気と混合された可燃性麻酔ガスがある場所では使用しないこと。
- 高圧酸素下ではアルコール系の薬品を噴霧させないこと。
- 水を用いての吸入はしないこと[症状が悪化する恐れがあるため]。
- 本製品専用のACアダプタ以外使用しないこと[火災、感電、本体の故障の原因になるため]。
- 専用ACアダプタを濡れた手でコンセントに抜き差ししないこと[感電ややけどをする恐れがあるため]。
- ネブライザー本体及びACアダプタを水に浸さないこと [漏電・感電の恐れがあり、故障の原因になり使用できなくなるため]。
- 使用後はACアダプタのプラグを抜くこと。長時間電源に接続したまま放置しないこと[感電や漏電、火災の原因となるため]。
- 洗浄後または使用後は、ACアダプタ接続部とDCプラグ部分を必ず拭いて、水分や湿気を取り除くこと [水分や湿気が付いたままにしておくと、故障の原因となるため]。
- メーカー付属品以外の部品を使わないこと[故障の原因となるため]。
- 電源を入れたまま、水気のあるところに置かないこと。
- 本体やACアダプタに薬液をこぼさないようにすること[濡れたまま使用すると故障や感電の原因になるため]。
- 本体、薬液チャンバー、ACアダプタを落としたり、強い衝撃を加えたりしないこと[破損し、使用できなくなったり感電の原因になるため]。
- 薬液チャンバーに薬液や水を入れたまま放置したり携帯しないこと[故障の原因や本体を傷めたり周囲を汚す恐れがあるため]。
- 部品が正常に作動しなかったり、壊れているような時は使用しないこと。
- 分解や修理・改造をしないこと[火災、漏電・感電、怪我の原因となるため]。
- 電源コード、電源プラグが傷んでいるとき、またはコンセントの差し込みがゆるい時は使用しないこと[火災や漏電、感電の原因になるため]。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないこと[正常に噴霧しない恐れがあるため]。
- 市販のアルカリ乾電池以外の電池は使用しないこと[故障の原因になるため]。
- 種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないこと[正常に噴霧しない恐れがあるため]。
- 乾電池と充電電池を混ぜて使用しないこと[正常に噴霧しない恐れがあるため]。
- ミルトンなどの次亜塩素酸ナトリウムを含む消毒液は使用しないこと [錆の原因になり、使用が出来なくなるため]。
- 本製品及び付属品超音波洗浄、煮沸、食器洗い機などにかけないこと[故障の原因になるため]。
- ご使用後は毎回、薬液チャンバーに薬液が残らないように確実に洗浄し、洗浄する際は、濁った水など使用しないこと[薬液カップの穴が詰まり、噴霧になるため]。

【形状・構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称



① 本体	a 低電池残量表示灯
② 保護キャップ	b 通電表示灯
③ 薬液チャンバー	c スタート/ストップボタン
④ マウスピース	d 電極
⑤ 携帯用ポーチ	e PUSHボタン
⑥ ACアダプタ	f ACアダプタ接続部(DC3V)
⑦ 接続チューブ付き吸入マスク (吸入マスクは大人用、子供用各1個)	g メッシュ
	h カバー
	i 呼吸口
	j DCプラグ

2. 本体寸法及び重量

寸法:(組立時) 本体約42.0(幅)約107.6(高さ)約71.5(奥行)mm
重量:約101g(電池含まず)

3. 電気的定格

電源:100～240VAC 50/60Hz 単3形アルカリ乾電池2個(DC3V)

消費電力:約2W

電撃に対する保護の形式:専用ACアダプタ使用時…クラスⅡ機器

単3形アルカリ乾電池使用時…内部電源機器

電撃に対する保護の程度:BF形装着部

4. 構成(材質)

本体 (ABS樹脂)…………… 1台
保護キャップ(シリコン) …… 2個
薬液チャンバー(ポリカーボネート)…………… 2個
マウスピース(シリコン)…………… 1個
携帯用ポーチ(ナイロン)…………… 1個
ACアダプタ(ABS樹脂)…………… 1個
吸入マスク(ポリ塩化ビニル)…………… 大人、子供用各1個
接続チューブ(ポリプロピレン)…………… 1個
取扱説明書(品質保証書付)…………… 1冊

5. 作動原理

本装置は単3形乾電池2個、またはAC100～240VAC電源を使用して、マイクロプロセッサから超音波振動を発生し、振動子にエネルギーを与え、チャンバー内の薬液に伝えることにより、薬液は、メッシュの作用で霧状になり、外部に噴霧し吸入させる装置である。

6. 性能及び安全性に関する規格

(1)性能

噴霧能力:≧0.2mL/分

噴霧粒子径:MMAD<5.5μm

薬液カップ容量:薬液最大容量約8ml、最少約0.5ml

超音波発振周波数:120kHz±5kHz

操作の前に取扱説明書を必ずお読み下さい。

- ※ (2) 安全性に関する規格
EMC規格 IEC60601-1-2:2014に適合

【使用目的又は効果】

本装置は慢性気管支炎、喘息等の吸入療法が必要な呼吸器疾患への使用を目的とし、薬物等を超音波エネルギーにより力学的に分散、エアロゾル状とし、上部気道から下部気道に送り込むために用いる。

【使用方法等】

1. 組み立て方法
 - (1) 薬液チャンバーを本体に取り付ける。
カチッという音がするまでチャンバーをスライドさせて取り付けること。
 - (2) マウスピースまたは接続チューブ及び吸入マスクを取り付ける。
2. 電源接続方法
 - 電池の使用方法
単3形アルカリ乾電池2個をプラス(+)とマイナス(-)の位置に合わせて中に入れ、電池のカバーを開める。新しいアルカリ乾電池を入れた場合、約4日間使用できる。(毎日20分間使用した場合)
(注記) 低電池残量表示灯(オレンジ色)の点滅が開始した際には、電池の交換が必要な事を示している。
(注記) 低電池残量表示灯(オレンジ色)が常時点灯している場合には、電池残量が極度に低下しているためにネブライザーが作動しません。即座に新しい電池と交換すること。
 - ACアダプタの使用方法
 - (1) ACアダプタのDCプラグを本体のACアダプタ接続部に差し込む。
 - (2) ACアダプタをコンセントに差し込む。
(注記) 本製品専用のACアダプタを使用すること。他の製品のACアダプタを使用しないこと。
3. 薬液の入れ方
 - (1) 本体から薬液チャンバーを取り外す。
本体背部のPUSHボタンを押して、薬液チャンバーを本体の手前側に押し出す。
(注記) ネブライザーの損傷を防止するために、薬液チャンバーを手前側に押し出す前にPUSHボタンが押し込まれていることを確認すること。
 - (2) 薬液を薬液チャンバーの中に入れる。
 - ① 薬液チャンバーのカバーを開けた状態で薬液をいれる。(推薦注入量は最大約8ml／最少約0.5ml)。
 - ② 薬液チャンバーのカバーを閉じる。
(注記) 薬液チャンバーから薬液が漏れるのを防止するために、カバーがしっかりと閉まっていることを確認すること。
 - (3) 薬液チャンバーを本体に再び取り付ける。
カチッという音がするまでチャンバーをスライドさせて取り付けること。
 - (4) マウスピースまたは接続チューブ及び吸入マスクを取り付ける。
4. ネブライザーの操作方法
 - (1) 電源をオンにする
スタート/ストップボタンを押す。通電表示灯(緑色)が常時点灯します。
(注記) 薬液チャンバーの中に薬液または生理食塩水を入れ、噴霧する時、高周波音が発する場合がある。本体を軽く振ることで、振動の音を低下させることができる。
 - (2) 吸入
本体を手でしっかりと持って吸入を開始する。
 - (3) 電源をオフにする
・薬液が枯渇した後は、自動停止する。
(注記) 薬液チャンバーが空になった場合、本装置が自動停止するように設計されている。念のため、薬液が枯渇して、自動停止しない場合は、メッシュの破損を防ぐためにスタート/ストップボタンを押して、即座に電源をオフにすること。
・治療を中断したい場合には、スタート/ストップボタンを押して電源をオフにする。
・ACアダプタを使用している場合には、電源をオフにした後にコンセントからプラグを抜く。

【使用上の注意】

- 薬液チャンバーの薬液が無くなり、メッシュ部分から高周波音(キュキュッという音)が発せられているにも関わらず、本装置が自動停止しない場合は、メッシュの破損を防ぐためにスタート/ストップボタンを押して電源を切ってください。
- 本装置は薬液チャンバーに水を入れても、電源が入らないよう設計されています(薬液が残っている場合には電源が入る場合があります。また、クリーンモード作動中は、蒸留水で洗浄することが可能です。)
- 薬液チャンバーが本体に正しく取り付けられていることを確認して、使用してください。正しく接続されないと、適切に機能しない場合があります。
- 薬液を注入する場合は、薬液チャンバーを本体から取り外してから行ってください。
- 使用後は毎回、残留薬液を洗浄してください。洗浄を行わないと、薬液チャンバーのメッシュが詰まることがあります。
- 洗浄後は、ガーゼで水を拭き取ってください。綿などの素材の布を使った場合、ほこりや繊維がメッシュ部分に残り、故障する場合があります。
- 本体及び薬液チャンバーの電極は清潔に保ってください。汚れているとネブライザーが適切に機能しない場合があります。

- 本体が動かなくなったり、異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いてお買い求めの販売店に必ず点検を依頼してください。
- 電源コードを抜き差しする時は、必ず電源プラグを持って行ってください。
- 使い切った乾電池はすぐ新しいものと交換してください。
- 乾電池の(+)と(-)は正しく入れてください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 使用していない時は常に電源プラグを外しておいて下さい。保管の際は携帯ケースの中に入れ、子供の手の届かないところに置いて保管してください。
- ネブライザーセットを直射日光にさらしたり、極度に高温や低温になる所や、汚れ・湿気のある所に置かないでください。
- 溶媒・化学薬品・アルコール・研磨剤などで清掃するようなことはしないでください。
- 薬液チャンバーやACアダプタなどを電子レンジ内で、乾燥したり煮沸したりしないでください。
- 各部品の洗浄、消毒後は十分に乾燥させてから組み立ててください。
- 取扱いを間違えると不具合を生じることがあるので、使用方法、使用上の注意などを厳守してください。

【保管方法及び有効期間等】

[保管環境条件]

周囲温度:-25℃～70℃

相対湿度:93%以下 結露なし

[操作環境条件]

周囲温度:5℃～40℃

相対湿度:15～93% 結露なし

[貯蔵・保管方法]

1. 使用後は洗浄し、新しいガーゼで拭き取った上で十分に空気乾燥させること。乾燥したら必ず清潔な場所(専用ポーチ)に保管してください。
2. 水濡れに注意し、高温・多湿・直射日光のあたる場所を避け室温で保管してください。

[耐用期間]

1. 薬液チャンバーは保守部品であって、保証はありません。通常の使用条件下では、薬液チャンバーの耐用期間は約6か月。しかしながら、噴霧能力は、使用方法又は使用する薬液の種類に応じて使用開始6か月未満でも低下し始めることがある。
洗浄後でもネブライザーによる噴霧ができない場合、又は噴霧能力が著しく低下した場合には、薬液チャンバーを新しいものと交換する必要がある。
2. 本体(薬液チャンバーを除く)及びACアダプタの保証期間は取扱説明書の注意書に従い正しく使用した場合に限り、購入後1年間。

【保守・点検に係る事項】

[洗浄について]

1. 残留薬液の洗浄
 - ・薬液チャンバーのカバーを開けて残留薬液を捨ててください。
 - ・薬液チャンバーに少量の蒸留水を注いでカバーを閉じてください。
 - ・本体のスタート/ストップボタンを長押しして(通電表示灯(青色)が点灯します)クリーンモードに移行し、蒸留水を1～2分間手動噴霧することによって、蒸留水が枯渇するまで薬液チャンバーの残留薬液を取り除いてください。
2. ネブライザーの分解
薬液チャンバー、接続チューブと吸入マスク又はマウスピースをネブライザーから取り外してください。
3. 薬液チャンバー、マウスピース吸入マスク及び接続チューブを蒸留水で洗浄してください。
4. 部品の洗浄後に、新しいガーゼで拭き取った上で十分に空気乾燥させてください。
5. 本体を新しいガーゼで拭き取る
 - ・ガーゼを水で軽く湿らせて、本体の汚れを軽く拭き取ってください。その後に別のガーゼを用いて湿気を除去してください。
 - ・本体及び薬液チャンバーの電極をきれいにして下さい。これによって通常通りの電気伝導が確保され、従って通常通りの噴霧がなされます。
6. 薬液チャンバーを取り付け、保護キャップを付ける。全部品を清潔な場所に保管する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 有限会社MASI

TEL:052-736-6590 / FAX:052-736-6591

製造元: HEALTH & LIFE(SUZHOU) CO.,LTD.

中華人民共和国

操作の前に取扱説明書を必ずお読み下さい。